



第 42 回 FIS チルドレンレース主催者委員会（FCROC）年次会議

開催報告書

特定非営利活動法人ナスターレース協会

2026 年 9 月吉日

ごあいさつ

2026年9月11日から13日にかけて、第42回FISチルドレンレース主催者委員会（FCROC）年次会議を長野県野沢温泉村にて開催いたしました。42回を数える本会議が日本で開催されたのは今回が初めてとなります。

本委員会は、世界各国で12～15歳を対象とした国際大会を開催する主催者が集まり、大会運営や競技環境、ユース世代の育成について情報や経験を共有する委員会です。当協会が加盟する国際的なネットワークの年次会議を日本で開催できたことは、大変意義深い機会となりました。



理事長 三浦豪太

今回の会議では、各加盟大会の現状や運営上の課題に加え、U14(12～13歳)・U16(14～15歳)と呼ばれる年齢別カテゴリーの安全と競技環境、選手の成長段階に応じた競技用具、スーパーGをはじめとするスピード種目の育成などについて議論が行われました。それぞれの国や地域で環境は異なりますが、次世代の選手をどのように育て、国際大会へつなげていくかという課題は共通しています。

当協会からは「ゴールドウイン FIS ユース ジャパンカップ」の歴史と大会の魅力について紹介しました。当協会では、国内における国際大会の開催に加え、海外の国際大会への選手派遣や海外選手の受け入れを継続してきました。今回の会議を通じてこれまで築いてきた海外大会主催者とのつながりをさらに深める機会となりました。

今後もFCROCの各加盟大会やFIS関係者との連携を図りながら、日本の子どもたちが国際的な競技環境に触れ、世界へ挑戦する機会の充実に取り組んでまいります。

結びに本会議へご参加いただいたFCROC各国メンバー、FIS関係者をはじめ、野沢温泉村、野沢温泉スキー場、そして開催にあたりご支援とご協力を賜りましたすべての皆様に心より御礼申し上げます。

特定非営利活動法人ナスターレース協会
理事長 三浦豪太

※FISとは：国際スキー・スノーボード連盟(Fédération internationale de ski et de snowboard)の略

開催概要

名称 42nd FIS Children's Races Organizers Committee Annual Meeting (※略表記：FCROC)
 第 42 回 FIS チルドレンレース主催者委員会 年次会議
 開催期間 2026 年 9 月 11 日（金）～13 日（日）
 開催地 長野県野沢温泉村(会議場：野沢温泉スパリーナ)
 主催 NPO 法人ナスターレース協会（ゴールドウイン FIS ユース ジャパンカップ 主催者）
 参加国 FCROC メンバー

国名	大会名
アンドラ公国	Trofeu Borrufa
スウェーデン王国	Ingemartrofen
スロバキア共和国	Interkriterium Vratna
イタリア共和国	Pinocchio Sugli Sci
スロベニア共和国	Pokal Loka
セルビア共和国	Serbia Cup
日本	GOLDWIN FIS YOUTH JAPAN CUP
コソボ共和国	Dardania Cup
ベルギー王国	BEAST FIS CHI Race
ボスニア・ヘルツェゴビナ	Children for Peace in the World
カナダ	Whistler Cup
イタリア共和国	Alpecimbra FIS Children Cup
チェコ共和国	Skiinterkriterium

ゲスト大会

国名	大会名
アルゼンチン共和国	Campeonato Internacional Infantil Patagónico

FIS 関係者 (FIS とは：国際スキー・スノーボード連盟 (Fédération Internationale de Ski et de Snowboard) の略称です)

氏名	役職
Stefan Havelid Johnsen 氏	FIS アルペン・ユース & 育成小委員会 委員長
Dimitrije Lazarovski 氏	FIS 育成開発プログラム責任者
Alan Di Felicianantonio 氏	FIS 育成コーチ(FIS キャンプ担当)

本会議は現地・オンライン併用のハイブリッド形式で開催し、FCROC メンバー12 か国 13 大会、ゲストとしてアルゼンチン共和国の大会関係者、FIS 関係者を含む総勢 29 名が参加しました。

日程 9 月 11 日（金）東京駅集合・長野駅へ移動
 善光寺常智院にて昼食(精進料理)／善光寺本堂見学
 野沢温泉村へ移動
 9 月 12 日（土）第 42 回 FIS チルドレンレース主催者委員会 年次会議
 9 月 13 日（日）野沢温泉村から飯山駅へ移動
 飯山駅から東京駅へ移動後、解散

9月11日（金） 文化体験プログラム・ウェルカムディナー

本会議では、開催国の歴史や文化に触れる機会が会議日程の一部として設けられています。今回は会議前日の9月11日に長野市の善光寺を訪れ、日本の歴史や文化に触れるプログラムを実施しました。

善光寺での案内は、「善光寺梵鐘の会」の高木あけみ様にお願いし、善光寺到着後は宿坊・常智院にて精進料理を昼食として召し上がっていただきました。

昼食後は創建から約1400年の歴史を持つ善光寺を訪れ、国宝に指定されている本堂を見学しお戒壇巡りを体験しました。また、1998年長野冬季オリンピックの開会を告げた鐘もご紹介いただいております。

同日夜にはウェルカムディナーを開催。本格的な日本料理を楽しんでいただくとともに、当協会名誉会長の猪谷千春氏、株式会社野沢温泉 代表取締役社長の片桐幹雄様にもご出席いただきました。

また、猪谷名誉会長より1956年コルチナ・ダンペッツォ冬季オリンピックで獲得した銀メダルをご披露いただきました。実物のオリンピックメダルを間近に見る貴重な機会となり、夕食会は終始和やかな雰囲気で行われました。



善光寺本堂見学



写真右：猪谷千春名誉会長



1956年コルチナ・ダンペッツォ
冬季オリンピック銀メダル



善光寺 集合写真

9月12日(土) 第42回 FIS チルドレンレース主催者委員会 年次会議 (場所：野沢温泉スパリーナ)

開会にあたり、当協会名誉会長の猪谷千春氏が歓迎の挨拶を行いました。自身が2歳半からスキーを始め、1956年コルチナ・ダンペッツォ冬季オリンピック男子回転で銀メダルを獲得した経験に触れながら、若い年代から競技に取り組むことの重要性、成長期のけがや教育・学校生活との両立などの課題について述べ、次世代の選手育成に取り組むFCROCへの期待を伝えられました。



猪谷名誉会長による歓迎のあいさつ

2025-26 シーズンはFCROC 加盟 15 大会がすべて開催され 68 のスキー連盟から延べ 2,696 名の選手が参加しました。一方でホテル、交通、大会運営にかかる費用の上昇やスポンサー確保の難しさ各国スキー連盟による支援状況の違いなど各主催者が直面する課題についても報告されました。



ベルギー大会への準会員証書授与

ユース年代の競技環境については、年齢や技術に合った適切な用具と安全な環境の確保が課題として挙げられました。競技レベルが上がると時速 100km を超えるスピード系種目は、安全な環境で段階的にスピードやジャンプを経験する競技前のトレーニングや共通ガイドラインの整備について検討を進めることが確認されました。



コソボ大会への候補会員証書授与

当協会は「ゴールドウイン FIS ユース ジャパンカップ」のプレゼンテーションを行い、大会の歴史と概要を紹介するとともに 2027 年大会への参加を各国へ呼びかけました。また、アルゼンチン、コソボ、ベルギーからも大会紹介や FCROC 加盟に関する報告・審議が行われました。2026-27 シーズンより加盟大会は 15 か国 16 大会となります。



オンライン参加者の話に耳を傾ける現地参加者

また、FCROC 加盟大会の成績上位選手に出場資格を与える「ファイナル大会プロジェクト」についても協議されました。約 9 割の主催者がファイナル構想に賛成しており、スポンサー企業が複数の加盟大会を対象に用具提供や割引等の支援を行う可能性についても説明があり、開催方法、出場資格、ルールとの整合性などを引き続き検討することとなりました。

最後に会長・副会長選挙が行われ、ヤネス・デクレヴァ氏(スロベニア)が会長に再選、ミラン・ボズィック氏(セルビア)が新副会長に選出されております。



ジャパンカップ大会のプレゼンを行う
ナイジェル・クーバー氏
(NPO 法人ナスターレース協会 国際チーム担当)

9月12日（土）フェアウェルディナー

会議終了後にはフェアウェルディナーを開催し、野沢温泉村長上野雄太様にご出席いただきました。

また、当協会がウイスラーカップへの選手派遣を開始した2001年に先立つ1994年、ウイスラーカップ（カナダ）に日本チームを引率した鈴木安一様（岳温泉スキークラブ）と、同大会で優勝した小田切美久様にもご参加いただきました。

FCROCメンバーと、日本が国際大会へ挑戦してきた歴史に関わる方々が一堂に会し、世代と国を越えて交流を深める機会となりました。

開催にあたりご参加いただいたFCROCメンバー、FIS関係者の皆様、そして開催を支えていただいた野沢温泉村、野沢温泉スキー場をはじめ多くの関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



写真右：野沢温泉村長 上野雄太様と
ナイジェル・クーバー氏



年次会議 集合写真